

**古川聡宇宙飛行士搭乗の
米国クルードラゴン宇宙船運用7号機の打上げ成功について
〔内閣府特命担当大臣(宇宙政策)談話〕**

古川聡宇宙飛行士が搭乗する、米国クルードラゴン宇宙船運用7号機が昨日打ち上げられ、本日、国際宇宙ステーション(ISS)とのドッキングが完了しました。古川宇宙飛行士達が、無事、ISS に到着されたことに安堵しています。

古川宇宙飛行士は、約半年間 ISS に滞在し、ISS の運用、細胞生物学や材料科学の実験、超小型衛星の放出、ロボットプログラミング競技会など、科学から教育まで、様々なミッションに取り組まれる予定と聞いております。

今後、ISS のような地球を周回する軌道での活動、そして、月・火星に向けた宇宙開発も進められていきます。そうした中で、古川宇宙飛行士を始めとした、日本人宇宙飛行士の宇宙活動の経験は我が国の大きな財産です。古川宇宙飛行士の宇宙での活躍が、有人宇宙開発・利用に寄与し、また、国民の皆様にも、夢や誇りをもたらしてくれることを期待します。約半年間後、ミッションを終えて、他の搭乗員の皆様とともに、無事に帰還されることを願っております。

令和 5 年 8 月 27 日
内閣府特命担当大臣(宇宙政策)
高 市 早 苗